



- い ○いきいきとした心と体をつくる子（体）
- ま ○学びをいかそうとする子（知）
- じ ○自分とみんなを大切に作る子（徳）
- ゆ ○ゆめをもち人の役に立とうとする子（公）
- く ○くらしをよりよくしようとし世界に目を向ける子（開）



## 感染症対策と日常のはざ間で

校長 島田恒弘

毎日のニュースで感染拡大が報じられています。一方で、保護者、地域の皆様、学校職員、みんなの協力により、本校では感染者を出さずにここまで来ることができました。しかし、皆様にとっても、学校にとっても、絶対に感染しないという保証はなく、安心できない状況が続いています。

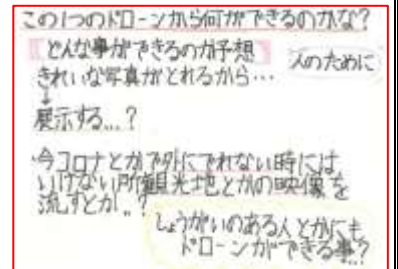
8月20日に第5学年宿泊体験学習の、8月26日に第6学年修学旅行の保護者説明会を行いました。実施可能な条件、実施不可能となる場合、そして教育的意義について説明させていただきました。この事態なので、学校のみで実施の可否を決めるのではなく、保護者の皆様の承諾が得られない場合は中止にするという内容でした。

毎年、当たり前のように行っていたことができなくなるというマイナス面にどうしても目が行きがちです。仕方がないことですが、この時期だからこそできることにも目を向けたいと思っています。その一つとして、ドローンを活用して「人の役に立つ」「人を助ける」「人を楽しませる」にはどうしたらいいか、という投げかけを夏休み前の朝会で子どもたちにしました。すると、たくさん子どもたちからアイデアが校長室に届きました。

- ・コロナウイルスで薬局などに老人が行くと危ないから薬などを運んでくれる。
- ・人と近づけないから、迷路やいろいろなアトラクションを楽しむ。
- ・困った人や悲しんでいる人がいたら助けてくれる。

現在、どのように活用されているかを調べてきた児童もいました。

- ・災害救助(空から見て探す)
- ・自然環境リサーチ(動物の映像など危険な所を撮影する)
- ・その他(アクロバティックな映像、人の目線では見られない映像)



「人の役に立つ」「人を助ける」「人を楽しませる」という視点は、これからの学習や技術革命に大変重要だと考えています。学校教育目標にもあるような「学びを活かし、夢をもち人の役に立とうとし、暮らしをよりよくしようとし世界に目を向ける子」になって欲しいと思っています。

来月予定している土曜参観では、運動会に代わる体育の発表会を校庭で行います。今年度は保護者の皆様全員が一斉に教室で45分間授業参観していただくのは難しいと考えています。この土曜参観にご来校いただき、子どもたちの頑張りを応援していただければと思います。

また、裏面にもありますように第4学年の宿泊体験学習は、宿泊地の条件が整わず、やむを得ず校外学習に変えることを検討しています。

様々な行事等についてガイドラインに沿った感染症対策を講じるために変更、縮小、中止しなくてはならないことがこれからも続くと思いますが、子どもたちの教育に必要な、かつ、「できること」を模索しながら進めていきたいと考えています。ご理解とご協力をお願いします。